


ペットボトルの分別にご協力を

ペットボトルとは

樹脂でつくられ、手軽で丈夫なペットボトルはお茶・ジュースなどの清涼飲料や、しょうゆ、酢、ドレッシングなどの容器として幅広く使われており、対象商品にはPETマーク  が付いています。ペットボトルはリサイクルしやすいため、回収後は資源として生まれ変わっています。

正しい分別にご協力を

しかし、このころペットボ

ルのキャップやラベルが付いたままになっていたり、中身が残った状態でご家庭から排出されていることがあります。こうしたペットボトルは効率よくリサイクルできません。

また、キャップが付いたままのものは、収集車に積み込む際に破裂する恐れがあり大変危険です。分別方法をもう一度確認していただき、指定された日に正しく出してください。

ペットボトルの分別方法

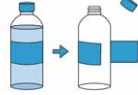
1 PETマークを確認

飲料用、酒類用、しょうゆ用など、ペットボトルとして排出できる商品には、ラベル部分とボトルにPETマークがついています。



2 キャップ・ラベルを取る

キャップとラベルはペットボトルと素材が違うので必ず取ってください。



3 水できれいにすすぐ

中身を空にして、水ですすいでから水切りをしてください。



4 ボトルをつぶさない

ペットボトルは中間処理施設で粉砕します。つぶれたペットボトルがあると粉砕作業がしにくくなります。



5 収集日に出す

ペットボトルは緑色のネットに、ラベルとキャップは指定プラスチックのネットに分別してください。



※ペットボトルの汚れがひどく、洗ってもきれいにならないボトルは、可燃ごみの日に出してください。

地域おこし協力隊通信

▶ 問合せ 企画課地域振興係 ☎ 24-5111 (内線141)



昭和村の野菜をPR (横浜にて)

▼6月1日から4日まで開催された、開港記念バザーに参加しました！横浜に着いた時、小学生の時の記憶がよみがえってきて、中華街行ったなとか、プロ野球観戦楽しみにしてたけど途中で中止になったななど、楽しかったいろいろなことが思い出されました。バザーでは昭和村をPRしながら昭和村産の野菜を販売。久しぶりの開催にも関わらず

懐かしい横浜の景色。



昭和村地域おこし協力隊 綿貴 秀人 隊員

道の駅「あぐりーむ昭和」旬菜館で活動中！



旬の焼きとうもろこし (旬菜館)

「以前買った時に美味しかったから」などうれしい言葉をかけてもらいました。

▼道の駅では夏といえばコシ。焼きとうもろこしの販売が7月中旬から始まり、旬菜館で働きながら焦げた醤油の美味しそうな匂いがしてきて、風鈴の音も相まって夏を感じています。

▼まだまだ暑い日は続きませんが、体調管理をしっかりして夏を乗り越えたいと思います！